

平成31年度 当初予算（案）のポイント

予算規模等

《骨格予算》

平成31年度の当初予算は、4月に市長選挙が行われることから、人件費及び扶助費、公債費などの義務的経費や継続経費を中心とした骨格予算として編成しており、新規事業や政策的経費は、選挙後の補正予算（肉付）で計上することとなります。

なお、防災力の向上などに関する事業をはじめ、子育てや教育環境の改善、産業力の強化、「祝祭の広場」の整備や「ラグビーワールドカップ2019日本大会」など、早期に執行を要する経費や事業を効果的に進めるために必要と判断されるものは、当初予算での計上としております。

会計区分	平成31年度 当初予算	平成30年度 当初予算	増減率%
一般会計	1,750 億 4,100 万円	1,807 億 3,700 万円	△ 3.2
特別会計	987 億 1,200 万円	959 億 1,800 万円	2.9
水道事業会計	180 億 3,700 万円	164 億 4,500 万円	9.7
公共下水道事業会計	242 億 7,900 万円	241 億 1,100 万円	0.7
計	3,160 億 6,900 万円	3,172 億 1,100 万円	△ 0.4

○新規事業	13件	1億4,000万円	
○拡充事業	24件	12億5,500万円	増
○社会保障関係費（扶助費）		549億円	
（対前年度比 9億7,900万円増 1.8%増）			
・保育所等給付費		5億7,600万円	増
・児童扶養手当給付費		5億6,500万円	増

○基金の活用	30億円
（前年度と同額）	
・財政調整基金	15億円
・市有財産整備基金	15億円

重点政策項目『3つの創造』

（単位：千円）

誰もが安心して笑顔で暮らせる社会の創造

1. 防災力の向上と安全・安心な暮らしの確保【防災安全の確保】

○建築物の耐震化	447,860
木造住宅・公民館の耐震化、危険ブロック塀等の除却	
○指定避難所の機能強化と避難情報等の発信	11,648
●指定避難所等機能強化事業（15箇所）、●災害情報システム整備事業	
●12誘導心電図伝送システム（県遠隔画像伝送システム）の導入	44,500

2. 子ども・子育て支援の充実【市民福祉の向上】

○私立認可保育所等の定員拡大等（施設整備に対する補助）	1,685,073
私立認可保育所等 364名増（2020年度：11,458名）	
○児童育成クラブ（民間含む）の定員拡大等（施設運営等に対する補助）	187,789
児童育成クラブ132名増（5,478名）・民間放課後児童クラブ180名増（671名）（2020年度）	
○子ども家庭支援センターの体制強化等（ケースワーカー2名増（11名））【拡充】	36,283

3. 豊かな心とたくましく生きる力をはぐくむ教育【教育・文化の振興】

○小学校施設の長寿命化改修工事を実施	1,472,620
舞鶴・横瀬・森岡・寒田小学校の校舎等の改修工事	
○教育支援体制の更なる充実【拡充】	433,294
外国語指導助手5名増（31名）、教科指導マイスター3名増（14名）、特別支援補助教員3名増（123名）、スクールソーシャルワーカー2名増（28名）	
○未来自分創造資金の卒業時給付金を増額（5万円増（10万円））【拡充】	10,700

4. 高齢者福祉・障がい者福祉の充実【市民福祉の向上】

○老人・障がい者福祉施設の整備に対する補助	765,940
-----------------------	---------

産業力の強化による活力の創造

1. 中小企業の経営基盤の強化【産業の振興】

○中小企業の競争力・経営力強化に対する支援	73,942
業務効率化の取組、研修等の人材育成、知的財産権の取得等に対する補助	
○販路拡大に対する支援	22,242
展示会、見本市等へ出展する経費の助成や大分市ブースを設置	
○プレミアム付商品券の発行に係る事務	164,500
●在宅就労の促進に向けた企業向けセミナーの開催	850

2. 企業立地の推進【産業の振興】

○企業立地促進助成金（19社分）【県等連携】	382,862
------------------------	---------

3. 農林水産業の振興【産業の振興】

○園芸振興総合対策事業（施設整備に対する補助）	100,356
○担い手の確保・育成	31,291
農業、漁業や林業への新規就業者に対する支援（広域連携）、農業塾の開催	
●集落営農構造改革対策事業費補助金	11,913
○クロメ・ヒジキ【拡充】の養殖、関あじ・関さばの蓄養への助成	3,002
○イノシシやシカの駆除、防護柵設置などの有害鳥獣対策	73,206

4. 豊の都市（まち）おおいの魅力発信【産業の振興】

○物産・食・観光魅力発信【拡充】（広域連携）	79,267
○観光リーディングプロジェクト【県等連携】（広域連携）	20,308

5. U I J ターンの促進【産業の振興】

○移住者就労促進	9,576
----------	-------

次なる時代を見据えた新たな魅力の創造

1. 個性を活かした魅力ある地域づくり【都市基盤の形成】

○「祝祭の広場」の整備	224,138
○大分駅東側・西側の鉄道残存敷の利活用	337,460
歩道・多目的広場の整備、低速電動バス（自動運転）の実証運行等	
○大分城址公園の整備・活用	102,441
仮想天守の再現、帯曲輪の照明灯整備、トイレ周辺の修景	
○西部海岸地区（田ノ浦地区）での魅力創造拠点施設の整備	34,484
○大分川ダム周辺の交流拠点施設（道の駅）と多目的広場の整備	580,219
●地域まちづくりビジョンフォローアップ事業	8,353

2. スポーツの振興と文化芸術の創造・発信【教育・文化の振興】

○ラグビーワールドカップ2019日本大会の取組【拡充】（県等連携）	1,072,168
ラグビーイベント、公認キャンプ受入、ラッピングバス、市営陸上競技場の改修など	
○東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組	39,200
ユニバーサルデザインの街づくり【拡充】、強化指定選手の支援、事前キャンプの誘致	
○大南地区におけるスポーツ施設の整備	106,223
●特別展「磯崎新展」の開催	25,000

3. 公共交通ネットワークの構築と利便性の向上等【都市基盤の形成】

○区内循環バス実証運行等、地域公共交通の再編に向けた取組	21,947
○鉄道駅バリアフリー化推進事業	17,000

4. 地球環境への配慮（地球温暖化対策）【環境の保全】

○家庭用燃料電池やリチウムイオン蓄電池の設置に対する補助	10,000
------------------------------	--------

平成30年度 3月補正予算（案）

3月補正額	26 億 8,600 万円
3月補正後	1,862 億 9,600 万円

内訳

1. 国の補正予算対応分【25億6,600万円】

(1) 熱中症対策としてのエアコン設置

・小学校空調設備整備事業	2,377,440
・市立幼稚園保育室空調機整備事業	92,300

(2) 消費税率引き上げへの対応（影響緩和）

・プレミアム付商品券発行事業（事務費）	33,500
---------------------	--------

(3) 防災・減災、国土強靱化への緊急対策

・灌漑排水事業（県工事負担金）	43,000
・県営漁港整備事業（県工事負担金）	19,500

2. 通常補正分【1億2,000万円】

・県立屋内スポーツ施設建設事業（県工事負担金）	111,989
・樋管管理業務等委託料	5,532